

課題番号：解体-202

課題名		廃炉プロセス「PCV/RPV/建屋の解体」 検討対象「分別基準」 課題「 α β γ 分別基準の設定」		時間軸情報	汚染水対策				
					使用済燃料プールからの燃料取り出し				
					燃料デブリ取り出し				
					PCV/RPV/建屋の解体			1	
					輸送・保管・貯蔵				
					処理・処分・環境回復				
段階		Design							
ニーズ		望ましい状態とその理由		（参考）関連する研究課題					
1	廃棄物を合理的に分別したい。	<p>●PCV/RPV/建屋の解体によって、処理・処分すべき廃棄物の種類と物量が影響を受ける。そのため、処理・処分を見越したPCV/RPV/建屋の解体方法、特に廃棄物を分類する際の考え方・基準を合理化することが望まれる。（より手厚い処理・処分を要する廃棄物量を低減し、より簡便な処理・処分に対応可能な廃棄物量を相対的に増やす方策が望まれる）。</p> <p>●このためには、処理・処分側から、PCV/RPV/建屋の解体側に要件や要求事項、留意事項が示されることが望まれる。</p> <p>●また、合理化された考え方・基準に対応した測定方法・分別方法等の整備・開発が望まれる。</p> <p>●発生する建屋廃棄物表面のα、β、γ汚染に応じた計測方法および精度が各々望まれる。</p>		【実施されている研究課題】					
				H28年度英知「汚染コンクリートの解体およびそこから生じる廃棄物の合理的処理・処分の検討」					
				廃炉・汚染水対策事業「固体廃棄物の処理・処分に関する研究開発（保管管理、処理・処分概念の構築と安全評価手法の開発、性状把握の効率化、研究開発成果の統合）」					
				【検討されている研究課題】					
				特になし。					
関連する課題		解体-102「解体対象物の性状・物量の把握」 解体-203「解体シナリオ・分別戦略の策定」 解体-204「作業シーケンスの設定」 共-2「可視化技術」 共-3「測定・分析技術」							